

上野幌・青葉地域

小規模校検討委員会ニュース

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会では、上野幌・青葉地域4小学校の学校規模の適正化を進めるうえでの諸課題について検討しております。検討状況については、「検討委員会ニュース」として、随時保護者や地域住民の皆様にお知らせしてまいります。

2015.7.21 第5号

発行：上野幌・青葉地域小規模校検討委員会

第5回検討委員会 について

6月15日（月）午前10時から、上野幌東小学校で第5回の検討委員会を開催しました。

今後の想定スケジュールや統合するパターン案などについて話し合いました。

報告事項 個別に寄せられた 意見について

第4回検討委員会以降、特に事務局や各委員に意見などは寄せられていません。

検討事項について

最初に今後の進め方のイメージを共有するために、過去に実施した統合スケジュールを基にスケジュール案の説明がありました。

次に4校を2校に統合（青葉小学校・上野幌小学校の組み合わせ、上野幌西小学校・上野幌東小学校の組み合わせ）した場合の具体的な検討項目について説明がありました。

■今後の想定スケジュールについて

前回の検討委員会では、今後は期限を決めて実質的な議論に入るべきといった意見もあったことから、今後の議論を進めていくにあたり、もみじ台地域の統合の例を参考に、結論が出てから実際の統合になるまで一定の期間が必要であるとの説明がありました。さらに、それを踏まえた検討委員会の開催と統合に向けて検討が必要な項目等について説明がありました。

（事務局説明）

■ 検討委員会の開催

- ・概ね2カ月に一回程度の開催を想定
- ・平成27年度は、全5回程度の検討委員会開催を想定
- ・独自課題については、別途「分科会」の設置も可能

■ 意見書提出に当たって検討が必要な項目（主な項目）

- ・統合する校舎の位置について（活用する校舎の決定）
- ・統合の時期について
- ・通学の安全確保について
- ・統合校の学校名について

■ 4校を2校に統合した場合の具体的な課題の検討について

平成27年5月1日現在の4校の現状についての説明と、前回の検討委員会の意見を踏まえ一旦4校を2校に統合する（国道274号で南北に分ける）というパターンの組み合わせのメリットと検討が必要な事項等についての説明があり、それらを基に話し合いを行いました。

配置	国道274号より北側		国道274号より南側		
学校名	上野幌小学校	青葉小学校	上野幌西小学校	上野幌東小学校	
開校年次	明治33(1900)年	昭和43(1968)年	平成元(1989)年	平成4(1992)年	
児童数・学級数	1年	28名 / 1学級	51名 / 2学級	26名 / 1学級	49名 / 2学級
	2年	24名 / 1学級	44名 / 2学級	22名 / 1学級	47名 / 2学級
	3年	30名 / 1学級	30名 / 1学級	29名 / 1学級	47名 / 2学級
	4年	22名 / 1学級	45名 / 2学級	32名 / 1学級	63名 / 2学級
	5年	27名 / 1学級	33名 / 1学級	32名 / 1学級	54名 / 2学級
	6年	37名 / 1学級	42名 / 2学級	40名 / 1学級	64名 / 2学級
	計	168名 / 6学級	245名 / 10学級	181名 / 6学級	324名 / 12学級
	特別支援学級	情緒：1名/1学級 知的：2名/1学級	情緒：8名/1学級 知的：2名/1学級	情緒：4名/1学級	情緒：2名/1学級 知的：2名/1学級
教職員数	16名	25名	15名	22名	
建物面積	5,682㎡ (校舎4,667㎡、屋内運動場1,015㎡)	6,731㎡ (校舎5,713㎡、屋内運動場1,018㎡)	6,295㎡ (校舎5,002㎡、屋内運動場1,293㎡)	8,257㎡ (校舎6,755㎡、屋内運動場1,502㎡)	
建物建築年度	校舎：昭和53(1978)年度 屋内運動場：昭和53(1978)年度	校舎：昭和43(1968)年度 屋内運動場：昭和44(1969)年度	校舎：昭和63(1988)年度 屋内運動場：昭和63(1988)年度	校舎：平成3(1991)年度 屋内運動場：平成3(1991)年度	
校地面積	16,025㎡	12,273㎡	19,116㎡	16,388㎡	

委員から寄せられた 主な意見

今後の進め方や統合パターン案に対し、委員から以下のような主なご意見、ご質問がありました。

<今後の進め方等について>

- 前回の検討委員会では、上野幌地区の3校を1校にまとめる案についての検討をしていない。4校を2校にするとは決まっていらないのではないか。
- 前回までの検討では、結論も出ていないし、方向性もまだ決まっていなかったのではないか。
- 4校を2校にするパターンを検討することは、前回の検討会で概ね合意したのではないかと。新年度は、過去の話し合いを繰り返すことなく、次のステップに進むべきだったのではないかと。
- 4校を2校にする方向で今後話し合いをすすめていくことはやむを得ないが、今後の話し合いの結果、別のパターンの検討に戻ることもあり得ることを前回は確認したはず。今回は、2校ずつそれぞれの関係者が集まり分科会形式で検討すればよかったのであって、4校の関係者全員で検討すること自体がおかしいのではないかと。

(事務局回答)

今まで委員から様々な発言があった中で、今まで検討したすべてのパターンを並列的な形で議論を進めるのではなく、まずは最初に4校を2校に統合するパターンの検討を深めていくという流れになったと認識しております。一旦はこのパターンを検討し、その中で問題があるという判断になったときは、以前検討したパターンを再度検討することになってよいと思います。

- 全学年1クラスになり、教員の数も減っている。小規模校の教育の質や他の学校との違いについて知りたい。また、小規模だから得していることや損しているようなことはあるのか。

(事務局回答)

学校の規模によってメリットやデメリットはありますが、現場の教員の頑張りもあり教育の質自体に大きな差はありません。ただし、去年1クラスで今年は2クラス、来年はまた1クラスにといったことになると子どもたちにとって不安定な状態になるなどの課題もあるほか、1学年2クラスあれば同じ学年の教員間での相談や意見交換が出来るなどの利点があります。

- 統廃合で一番重要なことは、「子どもたちが今受けるべき教育」をどうするかということであって、地域のまちづくりはその次の話である。そのため、スピード感を持って話し合っていくべき。

<統合パターン案について>

- 子どもの人数合わせのための統廃合であれば必要ないと思う。放課後活動でのデメリットや地域との関係も視野に入れるべき。
- 上野幌小学校の1学年1クラスが解消できる見込みが少ないなら、上野幌地区の3校を1校にする考え方もあるのではないか。ただし、青葉小学校が1学年2クラスを将来的に堅持したいとの意見が強く出るのであれば4校を2校にする統合でもやむを得ない。
- 青葉小学校は平均的に2学級あるので、上野幌地区の3校で統合の検討を進めていただいても構わない。
- 地域性などから、上野幌地区には青葉小学校と一緒にすることに抵抗を示す意見がある。
- 青葉地区の一部児童も上野幌小学校に通学しており、既に一緒になっている。また、上野幌地区の新興住宅街では、歴史や地域性の違いについてこだわっていないという話も聞いている。
- 中学校では一緒になるが、上野幌地区と青葉地区は別地域といった考え方が強く、小学校統合には違和感を覚えることはある。
- 国道274号線を境に4校を2校に分けることは、進学する中学校も同じで最も簡単だと思うが、これまでの歴史などを考えると、上野幌の3校を1校にするべきといった意見もある。
- 様々な意見があると思うが、4校を2校にするパターンを最初に検討していても構わないのではないか。子どものためと思って忙しい中参加しているが、空論が続くと熱が冷めていく。
- 今回の検討で、仮に4校を2校にしたとしても、そう遠くない将来に再び統合を検討しなければならなくなるのではないか。
- 仮に上野幌東小学校と上野幌西小学校を統合した場合、上野幌東小学校の校舎を利用することが有力なのではと思っているが、将来的な上野幌小学校との統合を念頭に置くと、上野幌西小学校の校舎を改修し利用すべきという考え方も出てくるのではないか。

- 自分の意見を正直に言えないような雰囲気になっている気がする。きちんと意見が言えている状況ではないのではないかと思う。

<校区や登下校、通学路などについて>

- 交通事故は国道274号線が非常に少なく、路地裏の方が多い。
- 上野幌西小学校の校舎を使う場合、現在の上野幌東小学校の校区では、上野幌小学校に通ったほうが近いと考える保護者もいる。
- 保護者としては、登下校時のリスクよりも、やはり子どもの教育環境が最大の関心事である。
- 通学路の話で国道を渡ることが常にネックになっているが、地域の見守りの中で対応可能なため、実際保護者や地域の方は深刻に考えていない人が多いのではないか。

委員の交代について

新年度に入り委員の交代がありましたので、全委員をご紹介します。

安島 秀好	上野幌東小学校 P T A	会 長	名古屋 陽子	上野幌西小学校 P T A	副会長
今井 清昭	青葉町自治連合会	会 長	西尾 邦博	上野幌小学校 P T A	会 長
小笠原 康友	上野幌東小学校	校 長	羽川 希世志	青葉小学校	校 長
小川 則子	青葉町自治連合会	女性部長	波多野 達郎	道営厚別団地自治会	会 長
坂爪 昭夫	上野幌小学校 P T A	前会長	平岡 英志	上野幌中央連絡協議会	会 長
猿丸 由紀子	青葉小学校 P T A	副会長	福井 大祐	上野幌東小学校 P T A	副会長
島崎 圭介	青葉小学校 P T A	会 長	松井 博和	道銀地域総合研究所	顧問
白川 典洋	上野幌小学校	校 長	光本 裕美子	上野幌西小学校 P T A	副会長
高村 誠	美しが丘緑小学校	校 長	村上 直史	真栄小学校	校 長
竹林 幸彦	上野幌西小学校	校 長	山下 咲子	上野幌西小学校 P T A	会 計
田村 芳子	上野幌東小学校 P T A	副会長	吉岡 敏幸	上野幌町内会	会 長
土田 義也	青葉町自治連合会	副会長	輪島 誠	上野幌小学校 P T A	副会長
長倉 五月	青葉小学校 P T A	副会長			

(五十音順・敬称略)

※下線は新任の委員。代表委員は今井委員、吉岡委員。司会委員は松井委員。高村委員、村上委員は統合経験校長。

**第6回の検討委員会
について**

第6回の検討委員会は、8月下旬頃の開催を予定しており、今回話し合われた内容を基に、P T A や地域から集約したご意見を持ち寄り、統合パターン案の再検討を行います。

ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せ下さい

上野幌・青葉地域 小規模校検討委員会 事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V 北2条ビル

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837

E - mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載予定です。
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>